



平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」

各校の活動報告書

1.	大聖寺実業高等学校	・・・・・・・・・・	P1
2.	小松工業高等学校	・・・・・・・・・・	P5
3.	寺井高等学校	・・・・・・・・・・	P7
4.	金沢錦丘高等学校	・・・・・・・・・・	P9
5.	金沢伏見高等学校	・・・・・・・・・・	P11
6.	金沢商業高等学校	・・・・・・・・・・	P13
7.	工業高等学校	・・・・・・・・・・	P15
8.	金沢向陽高等学校	・・・・・・・・・・	P17
9.	鹿西高等学校	・・・・・・・・・・	P19
10.	七尾東雲高等学校	・・・・・・・・・・	P21
11.	能登高等学校	・・・・・・・・・・	P23

心の教育推進協議会

(事務局：石川県教育委員会事務局生涯学習課)



平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立大聖寺実業高等学校	担当の先生の氏名	藤沢 英己
高校生リーダー氏名	横川 優太郎 分校 涼輔		
活 動 名	大実触れ合い隊（多くの生徒がボランティアにかかわる）		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの要請があれば、生徒会執行部で内容を吟味し、参加の検討など打ち合わせを行う。 ・募集案内を作成し、教室等に掲示。参加生徒を募る。 ・自らも積極的に参加しながら、周りを誘うことにより、ボランティアの輪を広げる。 ・部活動単位での参加を奨励する。

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
4月7日(土)	まんまるフェスタ(社会貢献活動) ・演奏	加賀市文化会館	吹奏楽部 4人
4月15日(日)	加賀温泉郷マラソン2018 ・競技補助員	加賀市内	陸上部 7人
4月27日(金)	片野海岸清掃ボランティア(1年遠足) ・海岸清掃	片野海岸	本校1年生 99人
5月25日(金)	除草作業及び敷地外ボランティア清掃 ・除草及び清掃	本校周辺	全校生徒 約300人
5月26日(土)	温泉ライダーin加賀温泉郷2018 ・会場清掃、縁日係員	ホテルアローレ	茶道 2人 有志・生徒会 8人
5月26日(土)	ひまわりの家交流会 ・演奏	動橋ひまわりの家	吹奏楽部 4人
5月27日(日)	能登野外音楽祭 ・演奏	宇出津小学校	吹奏楽部 5人
7月14日(土)	加賀ロボレール国際大会PR ・ロボットプログラミング体験補助	イオン加賀の里	メカトロ部
7月14日(土)	KAGA健康フェスタ2018 ・バルンアート提供、演奏	かが交流プラザ	有志 3人 吹奏楽部 5人
7月21日(土)	動橋児童センター夏祭り ・模擬店手伝い	動橋児童センター	卓球部 9名
7月25日(水)	菅生石部神社天神講 ・演奏	菅生石部神社	吹奏楽部 5人

8月4日(土)	作見児童センター夏祭り ・模擬店スタッフ	作見児童センター	有志 5人
8月11日(土)	統一事業「殿様救出大作戦」 (加賀青年会議所) ・ボランティアスタッフ	かが交流プラザ	弓道部 13人
8月11日(土)	曾宇町夏祭り ・バルンアートづくり	曾宇町	有志3人
8月24日(金)	ジャパンテント2018交流事業 ・俳句交流	本校 定員24人	美術・写真・ 茶道 10人 男女バレー 8+8
8月26日(日)	「24時間テレビ愛は地球を救う」 ・演奏、募金	市内商業施設	吹奏楽部 生徒会4人
9月8日(土) 9日(日)	十万石祭り ・演奏、手伝い ※ボランティア無し	加賀市役所前 10人、10人	吹奏楽部5人 有志 1人 バドミントン部
9月8日(土)	赤瓦の里 セミナー ・加賀市内散策、	かが交流プラザ ～加賀市内	ソフトテニス部 6人
9月30日(日)	エコフェスタ in かが 2018 ※中止	加賀市中央公園	有志5人
10月5日(金) ～25日(木)	「あいうえおんがく」ダンスムービー ・ダンスムービー出演	本校	バドミントン 15人
11月4日(日)	橋立地区文化祭 ・演奏	橋立地区会館	吹奏楽部 5人
11月9日(金) 10日(土) 11日(日)	加賀ロボレール国際大会 ・受け付け ・審判補助員	加賀市スポーツセンター	バドミントン14人 野球22人 弓道7人 メカトロ 6人 商業9人 吹奏楽5人 生徒会2人
12月23日(日)	イオン加賀の里クリスマスコンサート ・演奏	イオン加賀の里	吹奏楽部 5人
12月24日(月)	アビオシティ加賀クリスマスコンサート ・演奏	アビオシティ 加賀	吹奏楽部 5人
12月25日(火)	伊奈美園クリスマスコンサート ・演奏	伊奈美園	吹奏楽部 5人
1月26日(土)	もちつきの会 ・杵で餅をつく、きな粉をつける等	作見児童センター	バスケット 13人 茶華道3人

3. 活動で心に残ったことなど

- ・ボランティア活動を紹介する中で、積極的に参加してくれる仲間が多く、心強く感じた。また参加が少ないときは部活動に依頼することがあったが、協力的で頼もしさを感じた。
- ・地域のボランティア活動に参加することにより、地域の方々から期待され、感謝されていることが多く、皆さんの助けになれた達成感が感じられた。
- ・いろいろなボランティアに参加した中で、一般の方との交流、会話などのコミュニケーションが楽しかった。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

- ・今年も全校生徒の協力が得られ、たくさんのボランティア活動に「大実触れ合い隊」として参加することが出来た。昨年から継続して同じ活動に参加する生徒も見られ、ボランティアの輪が着実に広がっていることをうれしく感じた。今後も多くの生徒がボランティア活動に参加することで自分自身の成長につなげていってほしいと思った。
- ・部活動単位での参加では土日のボランティア活動が多いこともあり、大会等で日程が重なり参加が難しいことが何回かあった。また、気象条件等で活動が急きょ中止となったことが数回あり、活動が出来ず大変残念であった。

<活動写真>





平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立小松工業高等学校	担当の先生の氏名	向 孝史
高校生リーダー氏名	秋田 航希 宮田 和希 新田 光洋		
活 動 名	地域の美化に努める！		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
7月19日 12月20日	・ボランティア清掃打合せ
8月25日	・24時間テレビ募金活動打合せ イオンモール小松の出入口で募金を呼びかけた。
11月15日 11月16日 11月17日	・学校周辺への文化祭の案内を配布 ・献血のチラシ作成等のPR活動 ・文化祭当日の献血参加の呼びかけ 本校同窓会館1階で行い、献血活動を呼びかけた。 例年以上の約80名が協力してくれた。

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
5月1日	ボランティア清掃遠足 (1年：木場潟、2年：憩いの森、3年：安宅海岸)	各場所	720人
5月	緑の募金活動	学校	11人
7月20日 12月20日	ボランティア清掃 ・学校周辺、駅までのゴミ拾い	学校～ 小松駅	40人
11月16日 17日	本校文化祭での献血活動 ・告知活動、会場準備、献血活動	学校	5人

3. 活動で心に残ったことなど

- ・本校は5S活動に取り組んでおり、遠足でのボランティア清掃や学期末のボランティア清掃を通して、整理・整頓・清潔の大切を味わい有意義な活動になったと思う。
- ・11月17日の献血活動では、献血の係の方と一緒に活動し、協力者も多かったので達成感を味わうことができました。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

成果

- ボランティア清掃をして直接は見られませんでした、きれいになって喜んでくれる人のことを思って活動することで地域貢献できたと思いを得られたことが成果です。
より積極的な活動に発展させていくためには、生徒会執行部やインターアクト部が中心となって活動内容や方法を話し合いよりやりがいのある内容にしていければと思います。
学校内では活動を積極的にPRし、まず興味を持ってもらい、その後いろいろな形で協力を要請し、活動の輪が広がっていけばよいと思います。
- ボランティア活動をすれば必ず喜んでくれる人がいるということを大切に、前向きな気持ちでボランティア活動に取り組むことが大切だと思います。

〈活動写真〉



ボランティア清掃



24時間テレビ募金活動

平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立寺井高等学校	担当の先生の氏名	橋 弘司
高校生リーダー氏名	中西 結香		
活 動 名	地域清掃 町をきれいにしよう！ イーグル隊といっしょに。		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
6月下旬 7月中旬 ～8月 9月上旬 9月下旬 11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・先生方との打合せ ・清掃ボランティアの案内のチラシ作り ・清掃範囲の決定 ・全校生徒に参加の呼びかけ ・地域の方々への参加の呼びかけ ・イーグル隊の人たちへ協力依頼 ・活動開始

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
6月ごろ	生徒会・先生方との打ち合わせを行う ・清掃場所 ・範囲 ・清掃人数 ・清掃日時 等の計画と立案	校内 生徒会室	生徒会 7名
7月上旬～ 8月	清掃ボランティアの案内のチラシ作り 清掃範囲マップの作成	校内施設	美術部 3名
8月上旬	全校生徒へのボランティア活動参加の呼びかけ	校内外 公共施設	生徒会 7名
9月下旬	イーグル隊との清掃計画の打ち合わせ ・詳細打ち合わせを行う ・清掃用具の準備等	校内	生徒会 イーグル隊 20名程度
11月上旬	清掃活動の実施	各地域の 清掃場所	生徒会 イーグル隊 7名

3. 活動で心に残ったことなど

普段生活をしている生活エリアの中に、ゴミが予想していたよりもたくさん落ちていることに気づきました。清掃ボランティアのチラシ作りを通じ、活動を呼びかける立場に立つことで、ボランティア活動へのモチベーションが高まりました。

チラシを見て、たくさんの生徒が参加してくれたことがとても嬉しく思いました。「やってみようかな」という声を生徒から多く聞くことができました。今後も生徒会長として活動を広めていきたいと思いました。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

良かった点は、生徒みんなの清掃活動に対する意識が高まったことです。今後も様々なボランティア活動を行っていきたいと思いました。課題としては、11月上旬は、各種大会などの時期とも重なり、日程の工夫が求められました。また、1人ではなかなかボランティアへの参加しづらい生徒も多く、気軽に参加できる雰囲気づくりが大切だと感じました。さらに、人数の集計の把握がしにくく、袋や掃除用具の数の把握がしにくい面がありました。

〈活動写真〉



平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立金沢錦丘高等学校	担当の先生の氏名	三浦 薫
高校生リーダー氏名	中西 柿木 橋本 石丸 北村 川上 岡田		
活 動 名	ボランティア大作戦		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
5月26日	合宿に参加してボランティアリーダーとしての意識を高める。
6月 1日	JRC 大会に参加してボランティアが必要な時の対応を学ぶ
9月22日	救急法大会の練習を学校で行い、入賞を目指す。

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
6月 3日	百万石ツアーウオークのボランティア	金沢駅	参加者 (3000名)
8月26日	24時間テレビチャリティー募金	名鉄エムガ	参加者 (3000名)
8月30日	紫錦祭でのフェアトレード	錦丘高校	全校生徒 (980名)
10月28日	金沢マラソンのボランティア	錦丘周辺	参加者 (1万名)
10月31日	献血セミナーの実施	錦丘高校	保健委員 (30名)
12月 5日	金沢赤十字病院での車椅子清掃ボランティア	赤十字病院	参加者(20名)
3月ごろ	募金活動	金沢駅	参加者 (3000名)

3. 活動で心に残ったことなど

- ・百万石ツデーウオーク、24時間テレビ募金、金沢マラソンは人数が多く大変だったが、スタッフの人たちとうまく協力できて良かったと思う。
- ・献血セミナーでは献血の大切さがわかり、保健委員にも周知できて良かった。
- ・フェアトレードの準備が大変だったが、部員全員で協力し、好評だったのでよかった。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

成果

- ・救急法大会で入賞できた。
- ・今年は金沢赤十字病院で初めて車椅子清掃ボランティアを行った。
- ・文化祭でのフェアトレードも家庭部と協力できて良かった。

課題

- ・学校の補習や試験前で日程が合わず、募金活動があまりできなかった。

〈活動写真〉



平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立金沢伏見高等学校	担当の先生の氏名	田中 学
高校生リーダー氏名	飯田 智香 篠原 巧		
活 動 名	伏見ボランティア活動		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
10月12日	学校周辺川掃除での分別係
10月12日	収集したエコキャップを能美市の業者に渡しに行く
11月15日	赤い羽根共同募金の集計
11月17日	高等学校生徒会役員交流会に参加
11月19日	日本赤十字社石川支部に義援金を届ける

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
通年	エコキャップ収集	校内	全校生徒
10月12日	学校周辺川掃除 ・部単位で各持ち場の落ちているごみの収集	学校周辺	208人
10月28日	金沢マラソンボランティアスタッフ ・ドリンクサービス班と荷物預かり班にわかれ活動 ・地域の人とのコミュニケーションをとる	金沢市広坂通り	36人
11月7、8日 14、15日	赤い羽根共同募金 ・街頭で地域の人たちへの呼びかけ ・校内での生徒、先生への呼びかけ	ドンキホーテ 校内	27人 全校生徒

3. 活動で心に残ったことなど

毎年集めているペットボトルキャップが約 42 kg (16,800 本分) も集まっていたことや、自主参加性の学校周辺川掃除に 208 人生徒が参加してくれたことがとても嬉しく思いました。他にも赤い羽根共同募金では 4 日間で募金額が 32,516 円集まったのも心に残っています。

4. 成果と課題 (自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から)

成果

- ・校外の人と関わる良い機会になった。
- ・ボランティアの参加者が多かったのでボランティアに興味を持つ人が増えて良かった。

課題

- ・余裕をもって計画を進められるようにする必要がある。

〈活動写真〉



平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学校名	石川県立金沢商業高等学校	担当の先生の名前	前田 昌寛
高校生リーダー氏名	大和田 歩美 芳賀 睦		
活 動 名	地域に貢献するボランティア活動		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活動の概要
9月 3日	実行委員会で目的の確認
9月 7日	担当の生徒が集まってミーティング
9月28日	部活動の有志が集まってミーティング
9月29日	部活動の生徒を中心として、地域のみなさんの役に立つようなゴミ拾い活動を実施
10月 5日	担当の生徒が集まってミーティング（反省会とつぎに向けての話し合い）

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活動の概要	活動場所	対象 (延べ人数)
9月29日	部活動の生徒を中心として、地域のみなさんの役に立つようなゴミ拾い活動を実施	金沢市内 (金沢商業生が使用しているバス停付近)	20名

3. 活動で心に残ったことなど

- ・金沢はゴミがそんなに落ちていなくてきれいだと思った
- ・自分たちの使っているバス停を、自分たちできれいにするのは大切なことだと思った
- ・最近、外国の人も増えているので、きれいな街にしなければいけないと思った

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉等の面から）

成果

- ・自分たちの使っているバス停を、自分たちできれいにできてよかった
- ・街がきれいになってよかった
- ・参加するまでは大変だと思ったけど、参加して良かった

課題

- ・なかなかみんなが集まれる日がないので、みんなでやるのではなくて、都合のいい人で集まって何回かやればよかった
- ・検定や部活動の予定がたくさんあって大変だった

<活動写真>



平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立工業高等学校	担当の先生の氏名	大塚 正則
高校生リーダー氏名	櫻井 蓮		
活 動 名	生徒会による挨拶運動、募金活動、周辺美化運動等		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
一学期	挨拶運動、緑の羽根募金 場所：本校生徒玄関前 時間 7時50分から8時20分 グッドマナーキャンペーン 場所：本校周辺の車の通行量の多い通学路
毎週月曜日	周辺美化活動 場所： 本校周辺 時間 放課後
2学期	「みんなサンタさん計画」の打ち合わせ
3学期	除雪活動

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
一学期	挨拶運動、緑の羽根募金 生徒会執行部、各運動部・同好会による挨拶運動 生徒会執行部による緑の羽根募金運動 グッドマナーキャンペーン 自転車に登校する生徒の監視	生徒玄関前 学校周辺の車 通りの多い場 所 本校周辺	生徒会執 行部・部・ 同好会 生徒会執 行部
毎週月曜日	学校周辺美化活動 担当クラスが10名ほどで学校周辺の清掃をする	多目的ホール	全校生徒 (各クラ ス班毎)
2学期	生徒議会にて「みんなサンタさん計画！」の説明 討論の結果、いきなり実施するのは予算の問題等 により難しいため来年度から実施する方向の案を 決めた。		生徒会執 行部

3. 活動で心に残ったことなど

- ・「みんなサンタさん計画！」においては、案自体は良いものだったが準備不足で今年度は実施することが出来ず残念だった。来年度から実施していく予定である。
- ・緑の羽根募金では、合計額は少なかったが、1万円を超えることが出来たのでうれしかった。
- ・周辺美化活動では、自主的に参加する生徒も多く、ボランティアの自主性を全体的に高めることが出来た。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

- ・緑の羽根募金ではたくさんの生徒が募金をしてくれたので、生徒全体のボランティアの自主性は高まってきていると感じた。
- ・今後は、自分たちにしか出来ないボランティアを探して実行する力を身につけることが課題になると思う。

〈活動写真〉



緑の羽根募金



生徒議会の様子

平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立金沢向陽高等学校	担当の先生の氏名	星野 敏子
高校生リーダー氏名	茂野 隆矢 尾山 紫音 武藤 正宗 川本 冨生		
活 動 名	様々な募金活動をしよう！		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
8月中	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地の復興支援に向けて何ができるか部員で話しあう。 ・いろいろなボランティア団体に電話をかけ調査する ・石川県内の福祉作業所にも電話をかけ、手伝えることがあるか調査する ・支援方法を決定し、連絡を取る。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間テレビの募金のためにテレビ金沢の方と会う
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・あしなが学生募金のために大学生と連絡を取り合う ・赤い羽根共同募金のためにイオン金沢に場所の提供をお願いに行く。

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
8月26日	24時間テレビ共同募金に参加	イオン金沢 学校内	10人
9月7日	学校祭で東北・熊本復興支援の委託販売と、津幡町の福祉作業所で作った商品の販売を行う	金沢駅	10人
10月20日	あしなが学生募金を行う		15人
12月15日	赤い羽根共同募金活動を行う	イオン金沢	7人

3. 活動で心に残ったことなど

募金活動を通して、人の心の温かさを実感した。ほとんどの人はいい人なんだと心から思えた。「高校生？えらいねえ、がんばってね」と声を掛けてくれる人、驚くほどたくさん募金してくれる人、募金活動を本当に感動の連続だった。自分達が予想する以上の金額が集まり、少しでもお役に立てるならうれしいと思う。しかし、よく言われていることだが、ボランティアは行う側にたくさんのことが得られるのだというのは、本当のことだと確信した。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

学校における物品販売は先生方が買ってくれるのがほとんどで、生徒の購入は少なかった。一つには物品の種類が缶詰だったり、革製品だったり、高校生の気を惹くものではなかったからだと思う。また、平日開催で外部の人を入れない文化祭なので、売り上げが少なかった。もう少し、商品の種類を検討したり、売れるための仕掛けを工夫しなければならないと反省した。

平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立鹿西高等学校	担当の先生の氏名	岡山 和美
高校生リーダー氏名	小坂 美尋 村井 優希 関軒 十萌 岩崎 瑛莉香 大坂 美遙		
活 動 名	地域の人との交流を深める		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要 (誰と交渉したか)
6月	これまで、家庭部としての活動の一環でやってきたボランティア活動ではなく、鹿西高校のなかでのボランティアリーダーとして全校生徒に呼びかけるような活動を作り出したいと、生徒会の顧問の先生に相談した。
7月	<p>生徒会の顧問の先生からは、生徒会として、今年は「献血車」を呼びたいと考えていることを聞き、献血の必要性や現状、問題点などについて、家庭部が学習会（献血セミナー）を開催することを企画した。</p> <p>セミナー当日は講師の方のお話以外に、「貧血予防スムージー」を参加者に試飲してもらってはどうかなど、家庭部らしい意見が出された。</p> <p>話し合いの後、さっそく、赤十字献血センターの栄養士さんに相談し、紹介してくださった「貧血予防レシピ」を参考に、スムージーの試作に取り組んだ。</p>

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
7月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・貧血予防スムージーの試作・試飲 ・「献血セミナー」のポスター作成・掲示 	調理室	8名
7月23日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・献血セミナー ～血液の仕組みを通して生命の尊さを学ぶ～ 本校視聴覚室 13:30～14:30 講師：釜親直己 石川県赤十字血液センター 参加者：家庭部、女子バレー部 他 	校内各所 視聴覚室	10名 30数名
9月1日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭2日目 献血車の周辺にて 家庭部特製「貧血予防スムージー」試飲サービス <p>(大雨により、学校祭の日程短縮および献血車そのものが中止となったため実施できず)</p>	本校 来賓職員 玄関前 受付	—

3. 活動で心に残ったことなど

- これまで、ボランティア活動を「リーダーとして広める」という意識は持っていなかったが、リーダー養成合宿に参加したことで、自分たちが経験してきたボランティアを見直したり、「広げる」視点をもつことで、以前よりも様々なことを考えなければならないということを学ぶことが出来た。
- 「献血」をボランティアとして考えたことが無かったが、セミナーで、血液を必要としている人の切実な思いを知って、自分の「健康」が誰かの生命を助けることになるということがわかった。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

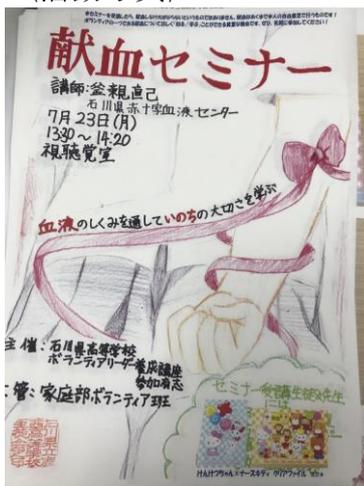
【成果】

- これまでの自分たち家庭部がボランティアとして行ってきた活動が、本当にボランティアであるのか？というところから問い直し、また、単に、ボランティア活動をするというのではなく、「ボランティアリーダー」として、周囲に働きかけるという点について、しっかり考えることができたことが一番の成果だと思う。
- リーダー養成合宿で、災害ボランティアについて講師の北村さんが話されていた内容が昨年に引き続き、印象的で、その内容を壁新聞にまとめたり、参加者が家庭部内での報告会をしたことでもボランティアについての意識を継続させることにつながったといえる。
- 実際に献血というボランティアをしようとする生徒や教職員、地域住民が、こんなにいるのかということを目のあたりに出来なかったが、事前に、学習会（献血セミナー）を計画し、「貧血予防スムージー」といった家庭部らしい活動も新たに生み出したことは、大きな成果である。

【課題】

- 今回は、献血車を学校に呼ぶことも初めてで、生徒会顧問の先生との打合せとなったが、次年度は、もう少し早い時期から計画し、生徒会執行部のメンバーと話し合って、出来るだけ生徒で主体的に取り組みたい。
- セミナーも、今回は、女子バレー部の参加がなかったら、家庭部だけになりそうであった。もっと早くから呼びかけて、部活動単位でも、個人でも参加するにはどうしたらよいか、作戦を練っていきたい。
- 昨年度も計画したが出来なかった「災害ボランティア」についての講習会は、今年度も実施できなかった。特定の部活動だけの参加ではなく、全校に参加を呼びかけていけるような企画も考えていきたい。

〈活動写真〉



平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立七尾東雲高等学校	担当の先生の氏名	木森 建一
高校生リーダー氏名	田畠 あゆみ 山本 理乃 山本 玲乃		
活 動 名	地域に貢献できる人材づくり		

1 ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
5月	障害者支援施設つばさの「つばさま祭り」手伝い
7月	24時間TV募金活動の計画を行う
10月上旬	「徳田まつり」の計画書に基づいて支援計画を練る
3月上旬	能登和倉万葉マラソンボランティアの計画

2 実施するボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
5月20日	障害者支援施設つばさの「つばさま祭り」手伝い	つばさの会	4人
5月31日	JR 徳田駅花壇植え替え	JR 徳田駅	10人
5月31日	学校周辺美化活動	学校周辺	140人
8月 4日	御祓川まつり運営のお手伝い	七尾市御祓川	11人
8月26日	24時間テレビ募金活動	アルプラザ鹿島	16人
10月7日	徳田まつり手伝い	能登国分寺公園	6人
11月8日	学校周辺美化活動	学校周辺	190人
3月下旬	能登和倉万葉マラソンボランティア ・給水 ・吹奏楽 ・バーベキューコーナー炭入	和倉	約80人

3. 活動で心に残ったことなど

24時間テレビ募金活動では自主的に協力してくれる生徒もいて、心強く感じた。長時間にわたる活動であったが、たくさんの方々に募金して頂いて、最後まで元気に活動することができた。長年続いているこの募金活動は、たくさんの方々に認知されていて皆さんが積極的に募金していると感じた。続けることの大切さを痛感した。

徳田まつりでは、本校で生産した野菜や花、加工品などを販売するお手伝いをした。ボランティアとは少し違う感じもするが、本校の商品を手にする地元の方々の笑顔を見て、自分たちの学校はいろんなところで地域に貢献できると感じた。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

今年度からボランティア部が休部となり、ボランティア委員会と生徒会執行部が中心となってボランティア活動を行った。24時間テレビ募金活動では自主的に参加する生徒もいたが、その以外は広報活動の不味さから自主的に参加する生徒を募ることが出来なかった。様々なボランティア活動への参加依頼が本校に寄せられているが、そのすべてに対応できていないのが現状である。広報活動の在り方を検討して、自主的に参加してくれる仲間たちをたくさん集めていきたい。

<活動写真>



24時間テレビチャリティ募金活動



「御祓川まつり」運営のお手伝い

平成30年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学 校 名	石川県立能登高等学校	担当の先生の氏名	小林 晋
高校生リーダー氏名	鍛治 怜花 宮本 梨沙 今井 みつき		
活 動 名	将来の自分にも町にもプラスの方向に		

1. ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活 動 の 概 要
5月上旬 7月上旬	町の行事の補助 新造キリコ担ぎ
毎日	学校花壇の水やり
毎週月・水曜日	学校周辺のごみ拾い

2. 実施したボランティア活動の内容

活動時期	活 動 の 概 要	活動場所	対象 (延べ人数)
5月6日	能登町 猿鬼歩こう走ろう健康大会 ・イベントへの参加 (10km 走る) ・タイム計測用チップの回収 ・給水	能登町 柳田	全校生徒 (184名)
5月27日	クリーンビーチいしかわ in 能登町 ・海岸清掃	能登町内 海岸3か所	希望者 (10人)
6月10日	赤十字募金	能登町宇出津	JRC部 (4人)
6月25日	学校周辺の除草作業	能登町宇出津	美化委員 JRC部 (16人)
12月14日	共同募金	能登町宇出津	JRC部 生徒会 (10名)
毎日	学校花壇の水やり	能登高校	JRC部 (4人)
毎週月・水曜日	学校周辺のごみ拾い	能登町宇出津	JRC部 (4人)

3. 活動で心に残ったことなど

- ・募金活動で、大きな声で募金をお願いすると、町の方から笑顔で励ましてもらえました。
- ・自分たちが思っている以上に町の人達に応援され、元気をいただいたことに感動しました。

4. 成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

- ・先生のを借りてやっとな他の生徒の協力を得ることができました。周囲の友達にも参加してもらおう等、もっと積極的に周囲の人に働き掛けないと活動の輪を広げていけないと思いました。
- ・町を元気にすることと同時に、まず学校の中から変えていく必要があると感じました。

〈活動写真〉

